

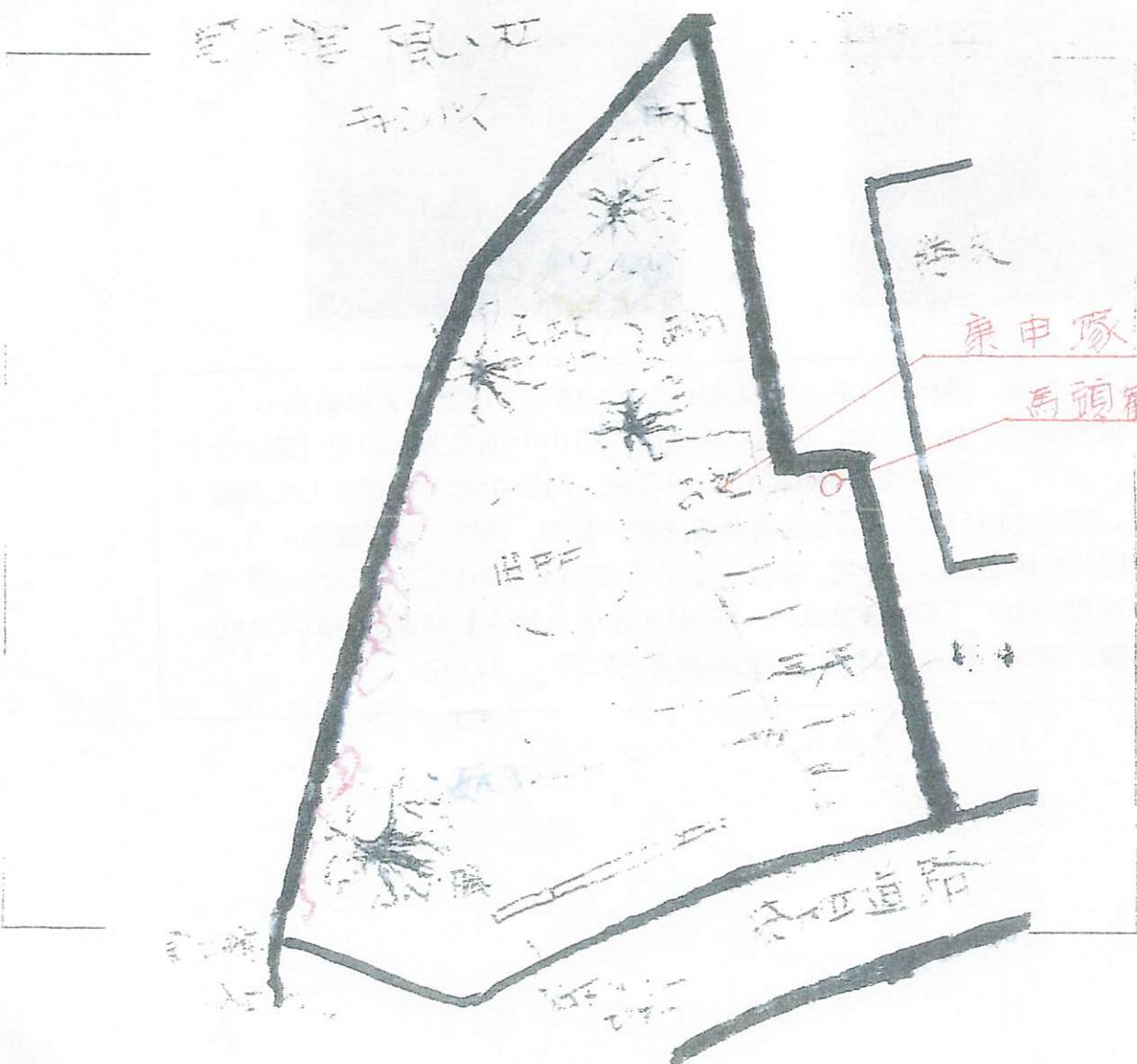
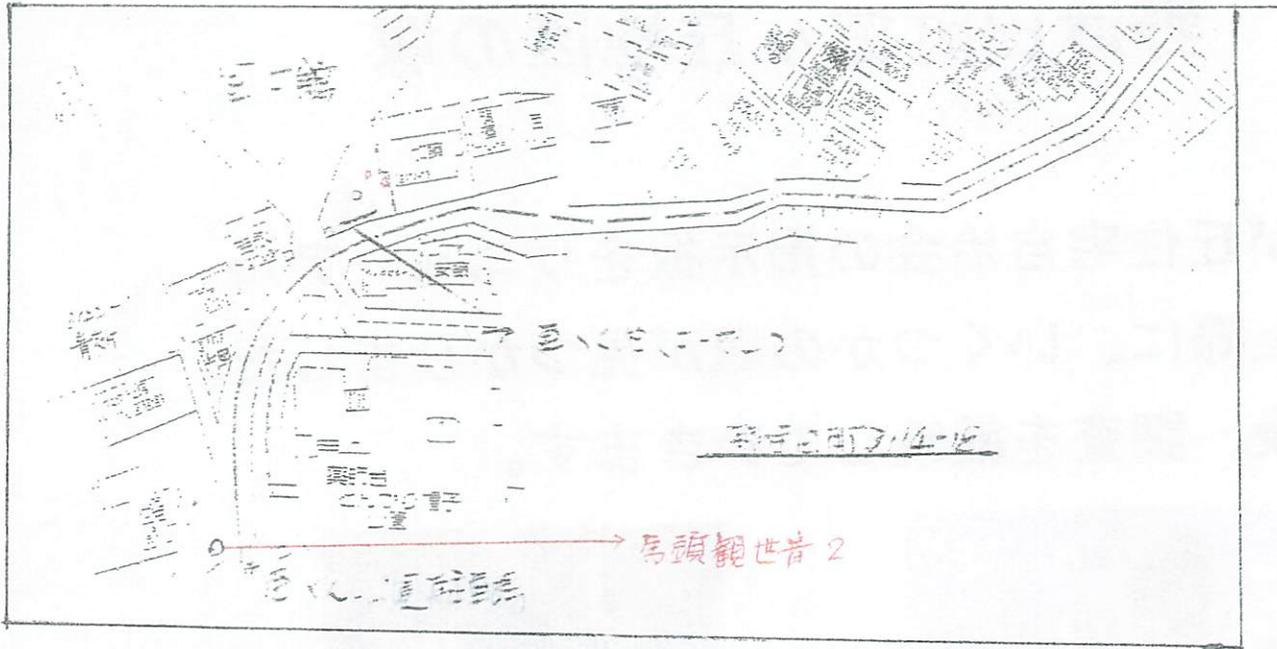
野津田町袋ヶ丘地区の塚

袋が丘住宅自治会の掲示板をリニューアルした際に、いくつかの塚が見つかりました。今後、調査を継続していきます。



野津田の地名 由来 蔦(つた)が、この地区に多く茂っていたことに由来し【野蔦】と呼ばれた。袋ヶ丘は、平坦の袋地区から山の上にあるので【袋ノ上】と呼ばれた。江戸、明治時代何軒かの住居が存在。鎌倉街道の脇道として農耕が盛んだった。昭和30年代には、土地開発造成後、警察、消防、役所勤めの方々が戸建てし、袋が丘住宅として発展、現在110世帯あまりの居住区となっている。現在、野津田町内会の下部組織として【袋が丘住宅自治会】が運営されており、住環境の保護、防災、防火、防犯、緑化環境維持に努めている。

袋が丘住宅地区 塚 場所 位置



康申塚

馬頭観世音 1

袋が丘道路

袋ノ上

庚申塚



■■■■ 建立時期および建立者不明

現在、袋に住まわれてる講中さんと呼ばれる方々が見守っている。

袋の吉澤■■■■さん、小菅さんで管理して下さっている。

袋ノ上 馬頭観世音 1



村野彦太郎様 大正 13 年 10 月 建立

明治終わりから昭和初期の方 お住まい：野津田町川嶋地区

関東大震災（大正 12 年 9 月 1 日）で自宅の馬 2 頭、圧死。

可愛がっていた馬の死を悼み供養建立。 子孫は、村野美彦様。

袋ノ上 馬頭観世音 2



建立時および建立者不明 昭和 39 年合碑再建と表示あり

氏神様 野津田神社

《由緒》

野津田町には古来より五つの神社がありました。それは五社明神呼ばれ、各々の創立年代は不詳ですが、それぞれの地域の氏神・鎮守様として厚くお祭りされておりました。

- ・暖沢田中の御霊神社(現、社殿の場所)
- ・上ノ原の春日神社(現、綾部原トンネルの上の辺り)
- ・本村の幸山神社(現、華巖院の西)
- ・並木の伊勢明神社(現、小野路への坂道の途中。今も小社がある)
- ・川島の御嶽神社(現、山王ガーデンシティの中。今も小社・稻荷社が祀られている)

以上の五社であり、祭礼は年毎に交代で神事を齋行していました。

また「野津田村年代記」には、元禄十三年(1700年)の祭礼時に、湯の花神事(農作物の吉凶を占うもの)が行われたとの記述があります。その後明治四十二年(1909年)明治政府の指導方針により御霊神社に他の四社が合祀され、野津田神社となり、野津田の総鎮守として多くの人々の信仰を集めております。

《御祭神》

五つの社の御祭神であります、伊邪那岐・伊邪那美命、国常立尊、天照大御神・天児屋根命・日本武尊命

《例祭》 八月二十七日(現在は前後の土曜日)

《歳旦祭》 元旦

《社殿》 入母屋造りであり、現在は大正十五年(1926年)の再建

《鎮座地》 町田市野津田町2319番地

《氏子数》 三百五十戸

袋 / 上

庚申塚

庚申様の後利益

長寿延命 無病息災 心願成就

厄除開運 道開き

庚申塚は延命長寿にご利益があるとされ、日本中あちらこちらの道の辻や寺社・墓地の入り口などにあります。その中祀られているのが青面金剛像です。そのためさんしが活動するとされて居る庚申の日（60日に一度）の夜は人々が集まって徹夜で過ごす。

【庚申侍】

昔からの風習を伝えるこうした文化財はいつまでも残して行きたいものです。

袋 / 上

馬頭観音様

庚申様のご利益

大願成就 心願成就 必勝祈願
合格祈願 足腰の痛み緩和

馬頭観音様のお使いの白馬が素早くに目的の所まで連れて行ってくれるという話から「大願成就」「心願成就」のご利益があると信仰を集めています。

馬頭観音様は勝負ごとに縁のある仏様で「必勝祈願」「合格祈願」のご利益でも知られています。

足腰の丈夫な馬にちなんで「膝や腰の痛みを和らげてくださる」として痛みのある所にてをあててお参りする人もいます。馬頭観音様は「悪いものが近寄って来ないようにお守りして下さいます。

馬頭観音様は「私たちの心の中にある、悩みや迷い、煩惱を焼き尽くして下さいます。」と親しまれ続けている。

袋地区 塚



月山
湯殿山
羽黒山
の表示あり。
ここに、お住まい
の方が、東北にお
参りにいた後、こ
の出羽三山は、遠
方の為ここにお
参り用の為、建立
されたとしている。

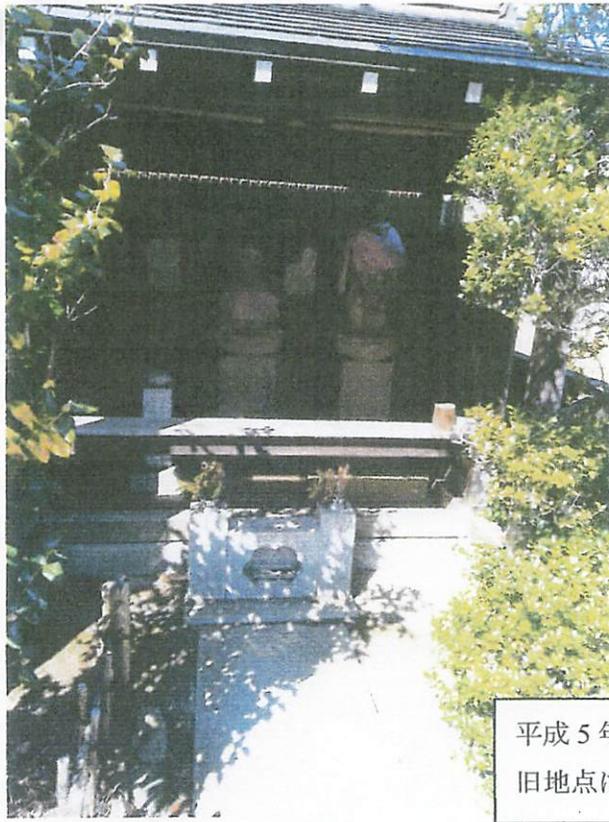
袋自治会館前



ここのお地藏さまは、子育て地藏であり
地域の方に大切にお祀りされている。
家内安全、安産祈願としても、大切に
祀られ、祈願されている。



袋 自治会館内 袋地藏尊



平成 5 年現在地に移転。
旧地点は、南西 10m 地点



袋地区 お地藏さん